

イベント情報

つくばでつながる・学ぶ・楽しむ

世界の文化に触れたり、いろいろな人と交流したり、つくばで新しい発見や出会いを楽しむイベントを紹介します。詳しい情報やお申込み方法などについては、ホームページからご覧ください。



HP

10/18

Tsukuba City Chat Cafe

筑波大学の留学生と気軽に英語でおしゃべりを楽しむイベントを年6回実施しています。今回は11月です。

時 13:30 - 15:45 (休憩あり、出入り自由)

場 コリドイオ3階 大会議室

対 市内在住・在勤・在学の方または当協会賛助会員

申 10月7日(水)から16日(金)まで

11/8

ベトナム コーヒー 文化体験

ベトナム式フィルターの「フィン」を使って、ベトナムのコーヒー文化を体験するイベントです。

時 13:00 - 15:00

場 コリドイオ1階
調理・実習室

費 500円

対 市内在住・在勤・在学かつコーヒーの試飲ができる方

申 10月5日(月)から
28日(水)まで

10/10

高校進学 ガイダンス

外国につながるご家庭に日本の学校のことを無料で教えます。

時 10:00 - 11:30

場 コリドイオ3階 大会議室

対 外国につながる子どもとその保護者

申 随時申込可能

11/7

小・中学校就学 ガイダンス



随時募集中！

ボランティア

日本語学習やイベント通訳など、外国人市民を支えるボランティアを募集しています。

詳しくは
こちらから



賛助会員

当協会をご支援いただける方を募集しています。当協会の講座の割引などの特典があります。

詳しくは
こちらから



編集・発行



一般財団法人 つくば市国際交流協会

〒305-0031 茨城県つくば市吾妻 1-10-1 コリドイオ1階

営業時間 8:30 - 17:15 土日祝日休み
TEL 029-869-7675
FAX 029-869-5356
EMAIL info@inter.or.jp
HP https://www.inter.or.jp



HP



Facebook



Instagram

令和8年度の賛助会員団体・企業様 (敬称略)

浅野物産(株)、一掬の会、(株)建築設計室匠工房、関彰商事(株)、箒・三絃「箏春会」、大和リース(株)水戸支店、(株)高田工務店、TIVONAの会、日本つくば国際語学院、(株)Bitte、(一社)つくば観光コンベンション協会

ご支援いただきありがとうございます

つくば市国際交流協会ニュースレター

Link!

ーリンク！

Vol.
22
2026.9



プレクラスの様子

外国につながる児童生徒の学びを支える取り組み

今年4月、当協会では外国につながる児童生徒を対象とした「プレクラス」をスタートしました。来日して間もない小・中・義務教育学校の児童生徒が、日本の学校生活に必要な日本語や生活習慣を学ぶ教室です。平日の午前中に開講し、学年に応じて20日間または30日間学びます。一人ひとりの日本語力や理解度に応じて、安心して学校生活を送れるよう支援しています。

一人ひとりに寄り添う学習支援

プレクラスでは、日本語学習支援員がひらがなや学校生活で使う言葉、数字の読み方、教科で使う言葉、小学1年生程度の漢字などについて、学年や興味、進度に合わせ、少人数制できめ細かく支援を行っています。



学校生活をイメージできるランドセル置き場



一人ひとりのペースに合わせた少人数指導

学校とつながる、切れ目のない支援

プレクラスで学んだ内容は在籍校と共有し、修了後も途切れることなく支援が続くよう連携しています。修了後数名は、当協会のこども日本語勉強会(放課後クラス)に参加しています。

これまでの利用状況 (2026年4～7月)

利用人数
13名

出身国
7か国

在籍校
7校

来年3月 プレスクール始まります！

2027年4月に小学1年生になる幼児を対象に、日本語や学校生活について学び、入学に向けた準備をサポートします。これからも、就学前から就学後までの学びを支えていきます。

今年4月開講、プレクラス！

Hot Topic 1

多文化共生コーディネーターに聞きました！

今年度の多文化共生コーディネーターに、多言語でのSNS発信やイベントの企画・運営など、活動を通して印象に残ったことや感じたことを聞きました。



ラヤミンウーさん（出身：ミャンマー）

最も印象に残っているのは、つくばフェスティバルで日本語と英語の司会を担当したこと。最初は不安でしたが、仲間の口さんと一緒に最後までやり遂げた経験が大きな自信につながりました。難しいと思っていたことにも、挑戦することの大切さを実感しました。SNSでの情報発信やイベントの運営を通して、さまざまな国や文化、価値観に触れました。その中で、自分の考え方や物事の見方も少しずつ広がったと感じています。

多文化共生には、違いを恐れず、まず相手を知ろうとする姿勢が大切だと思います。一歩踏み出して挑戦することで、新しい出会いや自分自身の成長につながりました。これからもさまざまなことに挑戦し、成長していきたいです。



グエンゴクランチさん（出身：ベトナム）

昨年度から引き続き、多文化共生コーディネーターとして活動しています。今年5月には「世界お茶のみ話ベトナム編」の講演者を務め、ベトナムの歴史や文化、暮らしについて紹介しました。当日は、参加者の皆さんから、たくさんの質問をいただき、とても活発な交流の時間となりました。質問に答えながら、私自身も改めて自分の国をより深く見つめ直すよい機会になったと感じています。こうした活動を通して、文化を紹介することが、お互いを知るきっかけになると改めて感じました。

11月には、ベトナムコーヒーをテーマにしたイベントでも講師を務める予定です。コーヒーを楽しみながら、ベトナムの文化や暮らしをより身近に感じてもらえたらと思います。これからも、さまざまな交流を通して、ベトナムと日本をつないでいきたいです。



ロゲンティさん（出身：中国）

特に印象に残っているのは、雲南省のプーアル茶を紹介した中国茶文化体験イベントです。故郷のお茶や文化を紹介し、参加者の皆さんと一緒にお茶を楽しみました。お茶を囲むと自然に会話が生まれ、文化交流は身近なところから始まると実感しました。また、多言語での情報発信を通して、分かりやすく伝えることの大切さも学びました。文化や言葉が違っても、互いを知ろうとすることで理解は深まると感じています。

振り返ってみると、今年3月から7月までと短い活動期間でしたが、様々な方との出会いから多くを学びました。これからも、人と人、文化と文化をつなぐ架け橋になりたいです。



SNS投稿はこちら
左：Facebook 右：Instagram



Hot Topic 2

韓国との交流で生まれた、夏の思い出

毎年夏に実施している「日韓青少年交流事業」。つくば市と韓国・大田（テジョン）広域市（以下、大田市）の中学生が互いの町を訪問し、文化体験やホームステイなどを通して交流を深めました。言葉や文化の違いを越えて触れあった、参加者たちの夏の体験をご紹介します。

1年ぶりの再会

日韓青少年交流事業は、2年間を一区切りとして実施しています。昨年はつくば市内の中学生を対象に参加者を募集し、8月に大田市を訪問しました。大田市は、つくば市と交流協力意向書を交わしている韓国有数の科学都市です。参加者は4日間の滞在を通して、さまざまな科学技術や韓国の文化に触れ、大田市の中学生との交流を深めました。

そして今年8月、大田市の中学生をつくば市に迎え、4日間交流しました。1年ぶりの再会に笑みがこぼれ、参加者たちはすぐに打ち解けていました。



つくばエキスポセンター



鉄板焼き

つくばの夏を体験

初日は歓迎式の後、つくばエキスポセンターを見学し、夕食には鉄板焼きを楽しみました。2日目には、「虹の会」メンバーを含むボランティアの皆さんによる浴衣の着付けや、「一掬の会」の皆さんによる茶道を体験しました。つくば市の参加者が大田市の参加者にけん玉を教えるなどの交流も見られました。2日目の午後から3日目にかけては、つくば市の参加者の家庭にご協力いただき、ホームステイを実施しました。「まつりつくば」を訪れた家庭もあり、日本の夏祭りの雰囲気を楽しみ、交流を深めました。



茶道体験

国境を越えて深まる友情

最終日には修了式を行い、いよいよお別れの時間に。昨年は「また来年会える」という思いがありましたが、今回は2年間の交流の締めくくり。別れを惜しみ、涙を見せる参加者も多く見られました。両市の参加者からは感謝の言葉が寄せられ、「とても良いプログラムでした。楽しかったです。」と上手な日本語で感謝の気持ちを伝えてくれた大田市の参加者もいました。

来年は、新たな参加者を募集し、2年間の交流が始まります。多くの中学生のご参加を心よりお待ちしております。



バス車内からの見送りの様子